

資料 7 - 1

取扱注意

平成 30 年度
地方創生の取組概要

説明資料

子ども・子育て支援関係分 抜粋

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

2 事業期間

平成 26 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

400 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.54 事業名	ふるさと教育推進	30 年度 予算額	3,558 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- ふるさと豊岡と未来の自分について考え、行動できる力を身につけた子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持ちながら豊岡で夢を実現することや、豊岡に軸足を置き世界規模で物事を考えられている。

《事業目的（趣旨）》

- 一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。このため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル&グローバル学習の時間」において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置づけ、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

1 事業内容

(1) ふるさと教育【3,232 千円】

現地に出向いたり、地域の人とかかわったりして、体験的な活動を行い、豊岡の「ひと・もの・こと」を学習素材とした探究的な学習に取り組む。また、教育委員会、コウノトリ共生部、環境経済部が協働して作成した「ふるさと学習ガイドブック」、DVD「豊岡ふるさと学習、山陰海岸ジオパーク」、DVD「コウノトリと共に生きる」等の映像資料の効果的な活用について実践を積み重ねる。

(2) ふるさと教育の効果検証共同研究【326 千円】

平成 29 年度から市内小中学校でスタートした「ふるさと教育」のうち、コウノトリ分野において、効果検証を行い、事業改善の参考とするため、ふるさと教育効果検証アンケート調査を実施する。

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,558 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【こども教育課】（内線 2725）

【コウノトリ共生課】（内線 2346）

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
No.55 事業名	子どもの野生復帰	30 年度 予算額 11,037 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 自然体験によって醸成される心身の鍛錬・躍動、磨かれる感性、地域への愛着、共生の精神をより深め、地域の自然・文化・伝統を学び、豊岡のフィールドでの体験プログラムとして、ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもたちを育成する。

1 事業内容

「キッズワイルド 2018」の実施

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

(1) 実施プログラム内容

- ア 周年型体験プログラム／四季型の通年体験
- イ 単発型体験プログラム／短期集中型の体験
- ウ 保護者対象プログラム／学習活動

(2) 対 象

市内の子ども、親子、保護者

(3) 実施期間

春季以降から平成 30 年度末

2 事業期間

平成 30 年度

3 事業主体

豊岡市



4 予算額（補助率・負担率等）

11,037 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

戦略・手段	A 04-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.56 事業名	高校生 U ターン意識向上戦略	30 年度 予算額	1,237 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 市内の高校生が、豊岡で暮らすことの豊かさやふるさとの価値に気づき、市内企業の仕事に魅力を感じ、将来 U ターンしたいと思う高校生が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 高校時のキャリア形成において、市内企業での就職など、豊岡で暮らすことが選択肢に入るようにするため、市内高校生を対象に、市内の仕事の魅力について学び、理解を深め、U ターン意識が向上する取組みを推進する。

1 事業内容

豊岡を知ること、豊岡を好きになり、将来的な U ターン意識が向上する。そのため、「豊岡を知る」キャリア教育を市内高校に行っていく。

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

【内容例】

- ・ 1年生：①豊岡の魅力ある企業の紹介、②企業見学、③ポスター作成、④校内発表
- ・ 2年生：①市長講話、②豊岡で働く若者との対話
- ・ 3年生：①「飛んでるローカル豊岡」授業

2 事業期間

平成 29 年度～平成 31 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,237 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



担当課名【エコバレー推進課】（内線 2313）

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

具体的 手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる	30年度 予算額	50,761 千円
-----------	------------	--------------------------------	-------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
57	コミュニケーション教育推進	1,126 千円	継続
58	英語教育推進	33,559 千円	拡大
59	英語遊び保育推進	13,926 千円	継続
60	豊岡の未来を創る高校生支援	2,150 千円	継続
合計		50,761 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる
No.57 事業名	コミュニケーション教育推進	30年度 予算額 1,126 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキル（異文化理解能力）を獲得し、対等な関係の中での自己主張と他者理解によって外国人等様々な人々と積極的に関わっている。

《事業目的（趣旨）》

- 国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。ローカルな町である豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡にいるからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・Iターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

1 事業内容

すべての小学校6年生と中学校1年生において、演劇的な手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用いて体験的に学ぶ総合的な取り組みを行う。また、全ての学年において、コミュニケーション能力の育成の視点を取り入れた関わりを土台にしながら日常生活や学習における指導を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

外部講師を招聘し、指導方法等について指導を受け、授業の充実を図る。

2 事業期間

平成 27 年度～31 年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,126 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【こども教育課】（内線 2725）

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
No.58	事業名	英語教育推進	30 年度 予算額	33,559 千円 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる児童生徒が育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 就学前及び 9 年間の系統性と連続性のある学習を通して、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の 4 領域を確実に身につけ、中学校卒業時にはふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる力を身につける。

1 事業内容

(1) すべての小・中学校において、豊岡市小中一貫教育の柱の一つである英語教育を実施する。

- ① 小学校 1・2 年生については「豊岡市英語カリキュラム」に則った英語教育を行う。
- ② 小学校 3～6 年生・中学校については「学習指導要領」に則った英語教育を行う。
- ③ すべての小・中学校に外国語指導助手を配置し、担任と連携した授業を行う。

(2) サマースクール（小学校 1 年生対象：5 日間【*1 回 2 時間を 1 講座とし、最大 9 講座】）、イングリッシュサマーキャンプ（中学校 3 年生対象：3 日間）を実施する。

(3) 豊岡市教員の英語の授業力向上を目的にした研修会を実施する。

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

2 事業期間
平成 28 年度～

3 事業主体
豊岡市



4 予算額（補助率・負担率等）
33,559 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【こども教育課】（内線 2725）

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる		
No.59 事業名	英語遊び保育推進		30 年度 予算額	13,926 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 英語遊び指導員や保育者との肯定的な関わりの下「遊びを通して、楽しみながら英語をたくさん経験する」ことにより、子どもに以下の姿を期待する。
 - (1) 外国の言葉や文化に興味を持つ子に
 - (2) 喜んで人と関わろうとする子に
 - (3) 自己肯定感を持てる子に

《事業目的（趣旨）》

- 将来、「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや、外国の言葉や文化に興味を持とうとする気持ちの素地を養う。

1 事業内容

- (1) 英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施
英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュ）英語遊び指導を実施する。

ア 訪問対象 市内全幼稚園・保育園・認定こども園の 4・5 歳児クラス
(但し、既に取り組みされているなどの一部の園を除く。)

イ 実施回数 年間 15 回程度
(2 週間に 1 回程度)

ウ 時 間 5 歳児・40 分、4 歳児・30 分

エ 指 導 者 英語遊び指導員 8 名(予定)

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

- (2) 英語遊び研修会の実施
幼稚園・保育園・認定こども園職員を対象とした英語遊び研修会を開催する。
- (3) 英語遊び通信の発行
保護者及び職員向けの英語遊び通信を発行する。



英語を使ったゲームを楽しんでいる様子

2 事業期間

平成 27～28 年度 6 モデル園での先行実施
平成 29 年度～ 市内の公・私立園で実施

3 事業主体 豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

13,926 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

戦略・手段	A 04-03	子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる			
No.60 事業名	豊岡の未来を創る高校生支援		30 年度 予算額	2,150 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習の時間」（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を更に発展させた研修を実践することにより、ふるさと豊岡で活躍する人材が育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 3 週間の語学研修において、授業、課外活動、ホームステイ等の体験を通じた実践英語の習得、日本以外の多くの国籍の参加者との交流を通じたコミュニケーション能力の向上を図り、これらの経験を活かし、ふるさと豊岡で活躍する国際社会に対応できる人材を育成する。

1 事業内容

豊岡市が進める小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習の時間」の取り組み（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を受け、それを発展させた高校版ローカル&グローバル教育に取り組む高等学校の生徒を対象に、カナダビクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,150 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

5 補助の内容

- ・ 3 週間語学研修参加経費 1 人 215 千円。10 名を限度とする。
- ・ 参加経費に含まれるもの 授業料、ホームステイ料金、医療保険、アクティビティ参加費、参加証等

担当課名【こども教育課】（内線 2725）

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

具体的 手 段	A 04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼 が世界に羽ばたいている	30年度 予算額	10,493 千円
------------	------------	--------------------------------	-------------	-----------

【対象事業】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
61	モンゴル交流推進	2,350 千円	継続
62	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催	8,143 千円	継続
合計		10,493 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	A 04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている		
No.61	事業名	モンゴル交流推進	30年度 予算額	2,350 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- モンゴル国との交流や市民による文化活動が盛んに行われている。

《事業目的（趣旨）》

- モンゴル国と豊岡市の交流を通して、市内中学生が相互に異文化を体験し、国際社会に対応できる人材の育成を図るとともに、市民がモンゴル文化と国際理解を深め、国際感覚を醸成する。

1 事業内容

モンゴル国から訪問団研修生（12～15歳の研修生6名、成人引率者3名、計9名）を迎え受ける。受入期間は6日間を予定。その間に、一般家庭へのホームステイや市内中学生との交流会を行う。交流会では“お国自慢”や“学園自慢”など、両国中学生によるプレゼンテーションも実施の予定。

2 事業期間

平成6年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,350 千円



主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

担当課名【文化振興課】（内線 2771）
日本・モンゴル民族博物館（電話 56-1000）

戦略・手段	A 04-04	子どもたちの想像の翼、行動の翼が世界に羽ばたいている		
No.62	事業名	子どもたちが豊岡で世界と 出会う音楽祭開催	30年度 予算額	8,143 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながらにして世界とつながることができる。そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもたちが育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 愛称：おんぶの祭典と題して、“世界から豊岡に 本物の響きと感動を 子どもたちへ”を合言葉に、以下の4点の目的をもって開催する。
 - (1) 子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながらにして世界とつながることができる。そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもたちを育てる。
 - (2) まちのあちこちで音楽が奏でられ、大人も一緒に楽しむまちづくりを目指す。
 - (3) 持続可能な音楽祭にするため、音楽祭の運営に当たっては、市民主導を基本に市民の皆さんで音楽祭を支える。
 - (4) 芸術を愛し育むまちとして、新たな豊岡市の魅力を創出する。

1 事業内容

(1)第5回おんぶの祭典 6月5日（火）～6月10日（日）の6日間

- ・ 出演者は、アンサンブル・ウィーン東京（4名）、弦楽チーム（4名）、管楽チーム（5名）ほか。
 - ① 子どもたちのためのコンサート（豊岡市民プラザ）
 - ② 小学校訪問コンサート 4校（新田・中筋・神美・城崎）
 - ③ 中学校訪問コンサート 6校（港・豊岡南・日高東・日高西・城崎・豊岡北）
 - ④ 街角コンサート 6カ所（大人も楽しめる子どもたちのためのコンサート2カ所を含む）
 - ⑤ 有料コンサート 3カ所

(2)おんぶの祭典プレコンサート

- ・ 市内で活動する音楽家の演奏を発表できる機会の提供。出演者は公募。
- ・ 5月13日（日）・20日（日） 豊岡稽古堂市民ギャラリーで開催。

主要手段 A04 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている（次世代育成）

2 事業期間

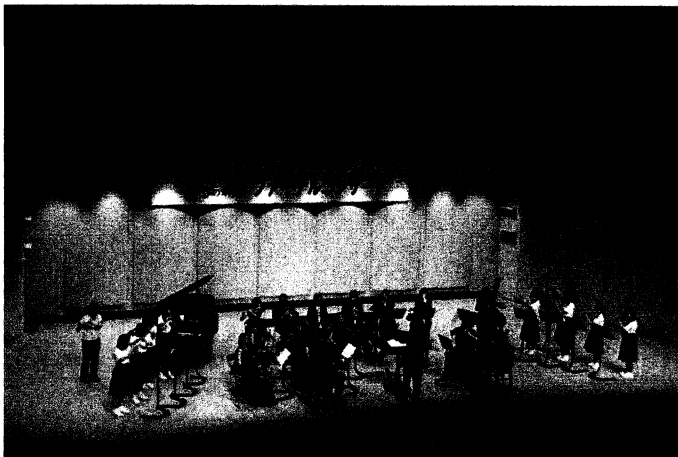
平成 26 年度～平成 35 年度（10 年間継続）

3 事業主体

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会豊岡市、豊岡市教育委員会

4 予算額（補助率・負担率等）

8,143 千円



担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

具体的 手 段	B 02-01	出産への応援がある	30年度 予算額	25,781 千円
------------	------------	-----------	-------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
5	子育て世代包括支援センター	1,258 千円	継続
6	産前・産後サポート事業	2,153 千円	継続
7	産後ケア事業（宿泊型、訪問型）	4,170 千円	継続
8	特定不妊治療費助成・不育症治療費助成	18,200 千円	継続
合計		25,781 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 02-01	出産への応援がある			
No.5	事業名	子育て世代包括支援センタ	30年度 予算額	1,258 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 安心して妊娠・出産・育児ができる環境が整っている。

《事業目的（趣旨）》

- 出産・子育てに関する不安、リスクを抱える子育て世代が増加しており、妊娠
期から子育て期までの切れ目のない支援体制を整える必要がある。このため、「子
育て世代包括支援センター」による相談体制の強化とサービス導入による支援施
策の充実を図る。
また、児童虐待など不適切な養育状態にある家庭の養育環境の改善を図るため
の専門的な相談・支援等を行う。

1 事業内容

保健師等の専門職により、すべての妊産婦の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを策定することにより、妊産婦に対してきめ細かい支援を実施する。

2 事業期間

平成 29 年度～

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
1,258 円
（国補助率 基準額の 1/3）
（県補助率 基準額の 1/3）



担当課名【健康増進課】（内線 3101）

戦略・手段	B 02-01	出産への応援がある		
No.6 事業名	産前・産後サポート事業	30年度 予算額	2,153 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 安心して妊娠・出産・育児ができる環境が整っている。

《事業目的（趣旨）》

- 出産・子育てに関する悩み等に対して、保健師等の専門職が不安や悩みを傾聴し、相談支援を行う。また、サポーター（ヘルパー）が家事・育児援助等を実施することにより精神及び身体の負担の軽減を図る。
あわせて地域の母親同士の仲間づくりを促し、妊産婦の家庭や地域での孤立感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし育児に臨めるようサポートする。

1 事業内容

- (1) 保健師等の専門職が妊産婦の居宅を訪問し、育児手技の確認および支援、不安や悩みに対しての相談を受ける。
- (2) サポーター（ヘルパー）が家事・育児援助等を実施する。
- (3) 妊産婦同士の仲間づくりを目的として、複数の妊婦や親子が参加する教室で、相談やグループワークを実施する。

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豊岡市

《参加型教室案内チラシ》

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

4 予算額（補助率・負担率等）

2,153 円

（国補助率 基準額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

戦略・手段	B 02-01	出産への応援がある			
No.7	事業名	産後ケア事業（宿泊型、訪問型）	30 年度 予算額	4,170 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 安心して妊娠・出産・育児ができる環境が整っている。

《事業目的（趣旨）》

- 父母、配偶者、パートナー等から十分な産後の育児支援が受けられない者の心身の安定を図るために、育児不安を解消し、産後も安心して子育てが出来る環境を整備し、安心して産後を過ごし育児に臨めるようサポートする。

1 事業内容

助産師等の専門職が母親の身体的な回復のための支援、授乳の指導及び乳房のケア、母親の不安の相談、新生児及び乳児の状況に応じた具体的な育児指導を行い不安や悩みの軽減を図る。

- ・ 宿泊型委託先：公立豊岡病院、公立八鹿病院
- ・ 訪問型委託先：在宅助産師

2 事業期間

平成 29 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

4,170 円

（国補助率 基準額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

戦略・手段	B 02-01	出産への応援がある		
No.8	事業名	特定不妊治療費助成・不育症治療費助成	30年度 予算額	18,200 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 出産を支える仕組みが整うことにより、出生数が増加し、夫婦一組あたりの子どもの数が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 地方創生の一環として、「特定不妊治療費助成事業」及び「不育症治療費助成事業」を実施し、子どもを産みやすい環境を整備し、人口減少対策につなげる。

1 事業内容

(1) 特定不妊治療費助成事業

県の助成制度に市独自の助成金を上乘せする。助成回数、助成可能年齢は県の制度に準じ、上限額1回あたり20万円。

(2) 不育症治療費助成事業

不育症の検査や治療にかかる医療費に対する助成を行う。

2 事業期間

平成28年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

18,200千円（不育症治療支援事業費補助金 補助率：補助対象額の1/2）

（内訳）

(1) 特定不妊治療費助成事業 18,000千円

(2) 不育症治療費助成事業 200千円（県補助 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

具体的 手段	B 02-02	育児への応援がある	30年度 予算額	1,077 千円
-----------	------------	-----------	-------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
再掲	(No.5) 子育て世代包括支援センター	(1,258 千円)	継続
9	ファミリーサポートセンター	1,077 千円	継続
合計		1,077 千円	

※再掲は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

戦略・手段	B 02-02	育児への応援がある		
No.9	事業名	ファミリーサポートセンター	30年度 予算額	1,077 千円 継続

《目指す将来像（姿）》

- 地域で子育て支援を行うことにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

- ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者と、支援を行いたい者の会員組織である。
市が事務局となり、保育施設等への送迎や一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1 事業内容

子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と支援を行いたい者（まかせて会員）の会員組織を設置し、会員同士の相互援助活動を円滑に図れるよう、専任のアドバイザーを配置して、会員募集・登録、会員のマッチング、会員研修、会員交流事業などを行う。

2 事業期間

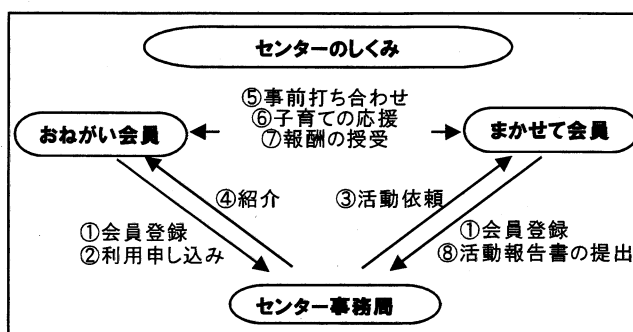
平成 29 年度～

平成 29 年 4 月にセンター設立後、会員募集、会員研修を円滑に進め、同年 7 月から相互援助活動を開始している。会員数は、64 人（平成 30 年 1 月 19 日現在）。平成 30 年度は会員数 100 人を目標とし、加えて相互援助活動の活発化も促していく。

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
1,077 千円
（国補助率 基準額の 1/3）
（県補助率 基準額の 1/3）



担当課名【こども育成課】（内線 2531）

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

具体的 手 段	B 02-03	仕事の両立への応援がある	30 年度 予算額	— 千円
------------	------------	--------------	--------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
再掲	(No.9) ファミリーサポートセンター	(1,077 千円)	継続
合計		—	

※再掲は合計から除く

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

具体的 手段	B 02-04	パートナーの応援(理解と協働)がある	30年度 予算額	12,829 千円
-----------	------------	--------------------	-------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
10	子育てセンターの交流事業「パパとあそぼうデー」ほか	12,829 千円	継続
合計		12,829 千円	

【事業別の詳細(以下、事業ごとの説明)】 _____

戦略・手段	B 02-04	まちを挙げた子育てへの応援がある		
No.10 事業名	子育てセンターの交流事業 「パパとあそぼうデー」ほか	30年度 予算額	12,829 千円	継続

《目指す将来像(姿)》
○ 夫婦が子育てを楽しんでいる。

《事業目的(趣旨)》
○ 子育てセンターで子育てに関する相談支援や親子が交流できる機会の提供などを行い、子育てにかかる不安感、負担感を軽減し、子育て家庭が子育ての楽しさを実感できるようにする。

1 事業内容

子育てセンターで、親子の交流のほか、親子で遊べる場の常設、相談支援、情報提供、学習機会(子育て講座等)の提供など子育てに関する様々な事業を行う。交流事業では、父親と子どものふれあいの機会を提供するため「パパとあそぼうデー」など、父親が参加しやすい事業も実施する。

〈内容〉

親子で自由にいつでも遊べる広場の常設、登録制による親子の交流事業、子育て講座(運動遊び、絵本、食育など)、子育て相談(常時)など

2 事業期間

平成17年度～

3 事業主体

豊岡市



パパとあそぼうデーの様子

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

4 予算額（補助率・負担率等）

12,829 千円

（国補助率 基準額の 1/3）

（県補助率 基準額の 1/3）



子育て総合センターの常設の広場「ふれあい広

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

具体的 手 段	B 02-05	まちを挙げた子育てへの応援があ る	30 年度 予算額	8,373 千円
------------	------------	----------------------	--------------	----------

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分(新規・拡大・継続)
11	子育て広場整備	7,106 千円	継続
12	FMジャングル夢チャレンジ	810 千円	継続
13	子育てママの活躍機会促進事業	457 千円	新規
合計		8,373 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

戦略・手段	B 02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある		
No.11 事業名	子育て広場整備	30 年度 予算額	7,106 千円	継続

《目指す将来像（姿）》
 ○小さな子も安心して遊べる子育て広場がまちの中心部にあり、親子が訪れている。子育て世代を身近に感じることで、応援の機運が高まっている。

《事業目的（趣旨）》
 ○市内6地域に1か所ずつ子育て広場を整備し、利用促進を図るとともに、子育て応援の機運を高める。

※豊岡（本庁舎前）、城崎（駅通り公園）、日高（町民広場）は平成29年度に開設済み。
 ※竹野、出石、但東は、平成29年度振興局敷地内で基盤整備、苗の植えつけを終え、平成30年度に防護柵の設置を行う。

1 事業内容

- (1) 竹野子育て広場（竹野庁舎前）
 - ・ 防護柵設置工事
- (2) 出石子育て広場（出石庁舎前）
 - ・ 防護柵設置工事
 - ・ 辰鼓楼東側堀転落防止柵設置工事
- (3) 但東子育て広場（但東庁舎前）
 - ・ 防護柵設置工事
 - ・ コンクリート擁壁緩衝材設置工事

・ 3 地域の子育て広場は、7 月頃にオープン予定

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

(4) 共通

- ・ 補植用苗・肥料代、維持管理手数料
- ・ 案内冊子の作成

※苗の植えつけ及び維持管理は、住民主体の実行委員会が行う。

2 事業期間

平成 29 年度～平成 30 年度

3 事業主体

豊岡市



豊岡子育て広場のオープニング

4 予算額（補助率・負担率等）

7,106 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3170）

戦略・手段	B 02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある		
No.12 事業名	FMジャングル夢チャレンジ	30 年度 予算額	810 千円	継続

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが夢を持ち、夢の実現に挑戦している。

《事業目的（趣旨）》

- 児童・生徒が夢や頑張っていることを広く市民に発信することで、自尊感情が高められるとともに、応援されることで自己肯定感が育まれる。

1 事業内容

なりたい自分になるため（「夢実現力」）に頑張っている子どもの様子をFMジャングルの市政情報提供番組で取材し、放送（15分番組：本放送毎週1回・再放送毎週2回）を行う。

2 事業期間

平成 20 年度～

3 事業主体

豊岡市

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

4 予算額（補助率・負担率等）

810 千円

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

戦略・手段	B 02-05	まちを挙げた子育てへの応援がある		
No.13 事業名	子育てママの活躍機会促進事業	30年度 予算額	457 千円	新規

《目指す将来像（姿）》

- 子育て中のママと子どもたちの活躍の場が増え、地域で子育てをポジティブにとらえる人が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 地域におけるママと赤ちゃんの「役割」や「活躍の場」を開拓するきっかけとして、「NPO 法人ママの働き方応援隊（通称：ママハタ）」の派遣の場を創出する。

1 事業内容

ママハタの但馬の活動拠点である「但馬校（養父市に H27.12 開設）」、サテライトの「豊岡奈佐学級（H29.5 開設）」と連携して「赤ちゃん先生クラス」を開催する。また、地域や企業への認知や理解を進めるため、市内のイベントなどにスタッフとして派遣する。

〈参考〉

- ・ NPO 法人ママの働き方応援隊（H19 年設立、本部：神戸市）
「子育て中がメリットになる働き方を創る」をミッションに全国に活動を広める。
- ・ 赤ちゃん先生クラス
赤ちゃんを連れたママ講師が教育機関や高齢者施設などを訪問し、「学び」や「ふれあい」の授業を行う。ママ講師には謝礼が支給され、「仕事」として役割と責任を持つ。

2 事業期間

平成 30 年度

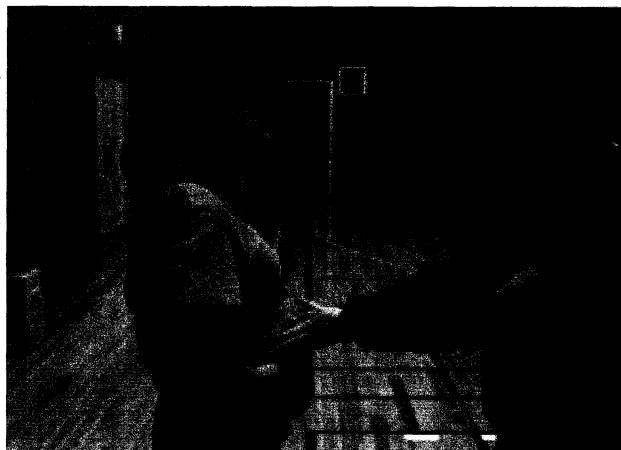
3 事業主体

豊岡市

主要手段 B02 夫婦一組あたりの子どもの数が増えている

4 予算額（補助率・負担率等）

457 千円（ひょうご地域創生交付金 補助率：交付対象額の 1/2）



豊岡奈佐学級による「赤ちゃん先生クラス」
開催の様子 (H29. 10 港中学校)

担当課名【ハートリーフ戦略室】（内線 3170）